年間授業計画　様式例

高等学校 令和6年度（１・2学年用） 教科 家庭科　　科目 家庭基礎

教　科：家庭科　　科　目：家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　4 組～　　5 組　　2 学年　　1 組～　　3 組

教科担当者：（4組：檜垣　芳賀）（5組：松井　芳賀）（1組：檜垣　芳賀）（2組：檜垣　芳賀）（3組：檜垣　芳賀）

使用教科書：（ 図説　家庭基礎　　）

教科　家庭科　　の目標：家族の生活の営みを人の一生との関わりの中でとらえ、生活の自立のための基礎的な知識・技術を身につける。

【 知　識　及　び　技　能 】生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識・技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から課題を見出し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなど生涯を見通して課題解決する力を

【学びに向かう力、人間性等】生活者に必要な基礎的な知識を身につけ、生活の向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家庭生活の意義、家庭生活と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。	家庭や地域社会における生活の中から、問題を見出し、その解決策を目指して思考を深め、適切に判断し工夫する能力を身につけている。	家庭や地域社会について関心を持ち、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 住生活をつくる 【知識及び技能】住まいの機能や文化、生活行為に対応した住空間を理解し、バリアフリーやユニバーサルデザインの住環境について知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージと住空間の関係、安全な住まいのために、どのような課題があるかをもお出し、その解決に向けて思考・判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】住空間や住環境について関心を持ち、快適で安全な住まいづくりに意欲的に取り組む。	1、人と住まいのかかわり 2、平面図からみた住空間 3、ライフステージと住まいの計画 4、健康に配慮した住まい 5、安全な住まい 6、持続可能な住まい 7、これからの住まい 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】住まいの機能や文化、生活行為に対応した住空間を理解し、バリアフリーやユニバーサルデザインの住環境について理解できる。 【思考・判断・表現】ライフステージと住空間の関係、安全な住まいのためにどのような課題があるかを見出し、その課題解決に向けて思考、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】将来どのような家に住みたいかをシミュレーションし、よりよい住環境について考えを深めることができる。	○	○	○	8
	単元　高齢者とかかわる 【知識及び技能】高齢者の現状、高齢者の心身の特徴、高齢期を支える社会制度やしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通しての社会福祉や社会保障のしくみについて、現在の生活上の課題と関連させながら考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴について、自分の身近な課題として捉え、積極的に学習に取り組む。	1、高齢社会にいきる 2、高齢者を知る 3、高齢者のサポートと介護の心 4、高齢者を支えるしくみ 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】高齢者の現状、高齢者の心身の特徴、高齢期を支える社会制度やしくみ、社会福祉の重要性について理解できる。 【思考・判断・表現】生涯を通しての社会保障制度の仕組みについて、現在の生活上の課題と関連させながら考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】高齢社会の現状を自分の身近な課題として捉え、積極的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		0
	単元社会とかかわる 【知識及び技能】社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみ、ボランティア活動の意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて、現代の生活課題と関連させながら考える。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の一員として、ボランティア活動に興味関心を持ち、現在の社会福祉の状況を理解し、自分のこととして考えるなど意欲的に学習に取り組む。	1、共に生きる 2、社会保障制度 3、社会の一員として私たちの役割 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】社会福祉の意味、現在の社会福祉の現状、社会保障制度のしくみ。ボランティア活動の意義について理解する。 【思考・判断・表現】　社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】　社会の一員として自覚し、ボランティア活動などに興味関心を持ち、現在の社会福祉の状況を理解し、自分のこととして捉えるなど意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	単元　子どもとかかわる 【知識及び技能】妊娠の成立から誕生、新生児、幼児期のこどもの心身の発達、食生活、衣生活、基本的生活習慣、遊びの重要性、子育て支援などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを取り巻く状況や子育て環境について、課題を見出し、その課題解決のために考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの生活に興味関心を持ち、子どもの社会問題について意欲的に学習する。	1、子どもの誕生　　2、からだの発達 3、運動機能の発達と知的発達 4、かかわりのなかの発達 5、子どもの生活習慣と健康 6、子どもの食生活・衣生活 7、子どもの遊び　8、親になることを考える 9、すこやかに育つ環境と疎遠 10、子どもを守る環境・権利 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】妊娠の成立から誕生、新生児、幼児期の子どもの心身の発達、食生活、衣生活、基本的生活習慣、遊びの重要性、子育て支援制度について理解する。 【思考・判断・表現】　子どもを取り巻く状況や子育ての環境について課題を見出し、その課題解決のために考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】　子どもの生活に興味関心を持ち、子どもの社会問題について意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2学期	単元　経済的に自立する 【知識及び技能】家計の構成や収入と支出、家計と国民経済・国際経済との関わりを理解する。また、保険や金融商品などの種類について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家計と収入について思考し適切な判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフイベントや生活のリスクなどに備えた生涯を見通した経済計画について、情報を収集し意欲的に学習する。	1、日々の収入・支出を把握する 2、社会と家計の変化 3、長期的な経済計画を立てる 4、経済のなかの家計 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】家計の構成や収入と支出、家計と国民経済とのかかわりを理解する。また、保険や金融商品などの種類について理解する。 【思考・判断・表現】　現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家計と収入、計画的な支出について適切な判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】　ライフイベントや生活のリスクなどに備え、生涯を見通した経済計画について情報を収集するなど意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元　衣生活をつくる 【知識及び技能】人と衣服の関わり、衣服の機能、繊維の種類と特徴、衣服材料の性能や加工について理解する。衣服の快適性とユバーサルデザインについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 現在の衣生活を取り巻く状況について、自分の衣生活を振り返りながら、衣服管理などの実践を通して、衣生活から見える環境への理解を深める。衣服に関する健康問題について、解決方法を考え適切な判断ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 衣生活と環境の関わりを考え、環境に配慮した衣生活が送れるよう取り組ませる。	1、人と衣服のかかわり 2、健康で安全な衣服 3、衣服材料と種類・特徴 4、衣服素材の性能と改善 5、衣生活の計画と購入 6、衣服の管理 7、家庭での洗濯・保管 8、持続可能な衣生活をつくる 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】人と衣服の関わりについて、衣服の機能、背にの種類と特徴、衣服材料の性能と加工について理解できる。衣服の快適性とユニバーサルデザインについて理解できる。 【思考・判断・表現】現在の衣生活を取り巻く状況について、自分の衣生活を振り返り、洗濯などの衣服管理の実践を通して、衣生活における環境への理解を深める。衣生活に関する健康問題について、その対策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】　衣生活と環境の関わりの状況を学び、環境に配慮した衣生活を考え取り組もうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						0
	単元　食生活をつくる 【知識及び技能】5大栄養素と水の働き、食事と健康の関わり、食と安全と衛生について理解する。 栄養、食品、調理に関する基礎的な知識を活かし、献立を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の安全面、環境面など多角的な視点で、これからの食生活について思考、判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持ち知識を深め、現在の自分の食生活の課題を見つけ、その解決策に向けて意欲的に学習に取り組む。	1、私たちの食生活 2、5大栄養素と水のはたらき 3、炭水化物　4、脂質 5、たんぱく質　6、ミネラル 7、ビタミン 8、その他の食品 9、食品の選択と表示 10、食品衛生 11、食料自給率と食のグローバル 12、食の未来と環境への取り組み 13、食事摂取基準 14、食品群別摂取量のめやす 15、献立作成 16、調理の基本 ・教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】5大栄養素と水の働き、食事と健康の関わり、食の安全と衛生について理解する。 栄養、食品、調理についての基礎的な知識を活用し献立を作成できる。 【思考・判断・表現】　食品の安全面、環境面など多角的な視点で、これからの食生活思考・判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って知識を深め、現在の自分の食生活の課題を見つけ、その解決策に向けて意欲的に学習に取り組もうといている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3学期	単元消費行動を考える 【知識及び技能】様々な契約、消費行動における意思決定の過程とその重要性、多様化している販売方法と支払方法、消費者の権利について理解する。 世界規模の環境問題に対して、現状を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 意思決定の過程において、具体的な事例を通して考え、主体的に判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 一人の消費者であることを自覚し、げんざいの自分の消費行動から課題を見出し、その解決策に向けて取り組む。	1、契約と主体的な消費行動 2、多様化する販売方法と問題商法 3、消費者を守る制度・法律 4、多様化する支払方法 5、消費者の権利と責任 6、持続可能な社会の構築 7、持続可能な社会をめざす取り組み 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】様々な契約、消費行動における意思蹴っての家庭とその重要性、多様化している販売方法と支払方法、消費者の権利について理解できる。 環境問題に対して、世界や日本の現状を理解できる。 【思考・判断・表現】　意思決定の過程について、具体的な事例を通して考え、主体的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】一人の消費者であることを自覚し、現在の自分の消費行動から課題を見出し、その解決策に向けて取り組む。	○	○	○	8
	単元　自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】ライフステージごとの発達課題や、将来のライフイベントや多様な家族形態について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活設計や生活資源の重要性について理解し、自分の生き方について考えを深める。時代とともに変化する家族関係の背景を理解し、現代の家族のあり方について思考を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 労働の意義や労働環境について、近い将来のことと意識し意欲的に学習に取り組む。	1、生涯発達する人生 2、これからの人生をデザインする 3、青年期を生きる　4、生活を支える労働 5、生活時間から見えてくるもの 6、男女参画社会をめざして　7、現代の家族 8、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 9、家族に関する法律の理念と変化 10、家族にかかわる法律 教材 ・教科書、副教材（生活ハンドブック） ・プリント ・視聴覚教材	【知識・技能】ライフイベントごとの発達課題や、将来のライフイベントや多様な家族形態について理解できる。労働の意義、家族の法律について、知識を身につける。 【思考・判断・表現】生活設計と生活資源の重要性について理解し、自分らしい生き方について考えることができる。時代とともに変化する家族関係や家族の役割を理解し、現在の家族のあり方について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働の意義や労働環境について、近い将来のことと意識し、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6 合計 70